

京極町の目指す子ども像 （京極町教育行政執行方針）

ふるさと京極の未来を思い、語れる子

1 学校教育目標

知恵をつないで創造する生徒の育成

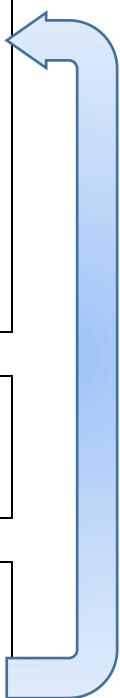
2 今年度のスローガン

「実感できる学」

3 今年度の指導の重点

生徒 目指す 像	「やってみたい」「なりたい」に向かって自律的・協働的に学ぶ生徒
(1) 資 質 ・ 能 力 育 成 す る	◎知識や技能を活用することができる力 ◎相手を意識して、伝えたり聞いたりすることができる力 ◎自他の良さを尊重しながら協働し、見通しを持って取り組む態度
(2) 教 職 員 が 高 め る 資 質 ・ 能 力	○探究・活用・協働を設定した実践的教科経営力 ○より望ましいコミュニケーションのための環境調整力 ○強みや得意に気づかせ、自信を持たせる発達支持的生徒指導力
(3) お も な 評 価 の 観 点 と 目 指 す 指 標	☆授業で学んだことを振り返って、次の学習や生活に生かすことができる。 ☆相手を意識して、望ましいコミュニケーションすることができる。 ☆自分の強み、役割や努力すべきことを意識して学校生活を送ることができる。 ◇生徒アンケート ⇒ 関連する項目で肯定的な回答が90%以上 ◇保護者アンケート ⇒ 関連する項目で肯定的な回答が80%以上 ※下記のデータも活用 □全国学力学習状況調査 □いじめアンケート年3回 □生活リズムチェックシート □QU や標準学力検査

4 経営の重点

(1) 基本姿勢	○教職員の言動が最大の教育環境・・・「子どもは無自覚に学習」 敬意・礼節・率先垂範・口調・態度・呼称・マナー・整頓整頓 ○学びの実践者・・・自身の役割やキャリアを踏まえた資質・能力向上 主体的な研修参加→全体共有→日常実践 ○組織的対応の徹底・・・まずはゴールの共有をしっかりと 協働・相互補完・確連報・検証改善サイクルを意識 ○多様性を理解・・・認知の仕方・興味や得意分野・困難さや困り感
(2) 貫くこと	○安心して学び、チャレンジできる場を設定 心理的安全性 発達支持的生徒指導 人権意識 失敗から学べる ○「教える」から「学ばせる」への指導観の転換と日常実践 選択させる・語らせる・決めさせる・ファシリテートする ○「どんな力を付けさせるのか」を軸に 3観点の資質・能力を明確にした計画・実施・評価
(3) 学校運営の基本	◎校務運営委員会を中核とする検証改善のためのAARサイクル Anticipation ～見通し・予測・段取り～ ①校務運営委員会 ⇒ 成果・課題や方向性の確認 ②グループ会議・学年部会 ⇒ 具体的な立案や検討 !育成する資質・能力 !みんなで徹底すること ③校務運営委員会 ⇒ 具体の検討・重点との整合性の確認 ④職員会議 ⇒ 徹底事項の協議・確認 ↓ Action ～実践・徹底～ ⑤実践 ⇒ チーム意識・徹底 ↓ Refrection ～振り返り・改善～ ⑥業務評価・成果や課題・改善策 ⇒ 次につなげる具体 !生徒の姿で振り返り !できることはすぐに 
(4) 業務内容	◎2グループ（部会）を基本 ☞ 詳細は後掲 【確かな学びをつなぐグループ】 ・教務 ・教育環境 ・学習上の困り感への対応 【豊かな心をつなぐグループ】 ・生徒指導 ・保健給食に関わること ・生活上の困り感への対応

5 重点達成のための推進事項

(1)	自ら課題を選択して取り組む学力・体力の向上 ◎学んだことを、次の学習や実生活につなげる力を高める授業改善 ○デジタル教材のより効果的活用の推進 ○諸テストや検査の指導改善への活用 ○望ましい学習習慣・生活習慣づくり ○生徒主体の体力向上の取組 ※おもな全体研修 探究的な学習
(2)	自他の尊重と自己有用感の高揚 ◎人権意識・相手意識を高める学級活動・生徒会活動・部活動 いじめ見逃し0! ◎3年間で段階的に育成する資質能力を踏まえた縦割り活動 ○話し合いSTANDARDに基づくよりよい合意形成 ○考え、議論する道徳の授業を要とした道徳教育の推進 【道徳教育の重点】〈自主・自律、自由と責任〉〈相互理解、寛容〉〈生命の尊さ〉 ※おもな全体研修 インクルーシブ教育 アウトプット
(3)	社会全体の well-being につなげる探究活動 ◎探究型の総合的な学習の時間の展開 ◎生き方を考える進路学習（キャリアノートの有効活用） ○OCS と連携した地域の教育資源や外部講師活用、地域ボランティア参画 ○命を守る安全教育（防災・防犯・交通安全・命の教育）
(4)	生徒一人ひとりの学びを保障する環境調整 ◎教職員の研修の充実・促進 ○個別の指導計画・支援計画の整備・関係機関との連携 ※おもな全体研修 教育相談 多様性の理解
(5)	9年間を見通した学校間連携 ○町教研部会との連携推進 ・乗り入れ授業 ・総合的な学習の時間の整理 ・通常学級での支援 ○小学校登校日や相互の授業参観 ○各種会議での指導の方向性の検討
(6)	教育の質を高めるための働き方改革 ◎プロセスシートの作成と計画的な業務推進 ○ICT や C4th のより効果的な活用の検討・推進・先進事例研修
(7)	学校応援団をより強固にするための保護者・地域との連携 15の春の姿「夢・思いやり・心身ともに健康・自信」を共有しながら（学校運営協議会） ◎迅速な情報共有と誠実な対応（事実・指導内容・方針・協力依頼） ◎生徒の姿でよりよくアピール ・各種通信 ・懇談資料 ・参観週間 ・行事 ・地域活動他 ◎PTA 活動の充実（エントリ制・保護者主体の活動・子育ての研修）

6 小中共通の評価項目 ～子どもを見つめる15の視点～

	目指す15の春の姿（学校運営協議会より）	評価項目
①	難しいことにチャレンジ	挑戦心
②	粘り強く最後まで	忍耐力
③	仲間といっしょに問題解決	協働
④	学びを生かして問題解決	探究心
⑤	相手の立場になって	相手意識
⑥	自分の考えを説明できる	論理的思考・洞察力
⑦	困っている人を進んで助ける	思いやり
⑧	多様な考えを受け入れる	多様性への理解
⑨	いじめに対して正しい行動	判断力・思慮深さ
⑩	進んで運動に親しむ	健康・体力
⑪	規則正しい生活	健康・食育
⑫	将来の生き方を考える	自己理解 キャリアプランニング能力
⑬	防災や防犯について自ら判断し安全な行動	自助・共助・公助
⑭	地域をより良くするための行動	地域貢献・社会の創り手
⑮	読書で考えを広げる	考え・感じ・創造する力